



学校だより

平成30年7月20日

横浜市立高田中学校

8月号(第30-05号) TEL: 591-4183 校長 福田 之男

明日から夏休み（夏休みのしおりより）

福田 之男

今年度の高田中学校生徒会目標は「進む～己を磨き新たな道へ～」に決まりました。5月の生徒朝会で、この目標のもつ意味は「一人ひとりが、自分の課題を見つけ、更により自分を作るということ、更にステップアップをするということだ」との説明がありました。

明日から始まる夏休みは、この目標に向けて新たな気持ちで取組を始めるよい機会となります。夏休みの37日間をどのように過ごすかで、自分をステップアップしていけるかが決まります。

夏休み前に行われた担任の先生、保護者の方との三者面談で、4月からの4ヶ月の取組を振り返り、頑張ったこと、課題となっていることが確認できたと思います。夏休みには、ぜひ自分の課題を克服するようにしっかりと計画を立て、新たな道に進めるように取り組んでください。生活面、学習面、部活動など、課題は一人ひとり違っていると思いますが、努力することが大切です。朝会で話したように、努力したことがすぐに結果として表れないことは、往々にしてありますが、その努力はその人の長い人生の中で、必ず本人の成長のために役立ち、報われます。努力を続けることがとても大切なことです。この夏休みの努力が次のステップアップにつながります。

また、課題の克服だけでなく、夏休みだからできることに積極的にチャレンジしてみてください。家族との対話やふれあいを大切にするとともに、日頃の学校生活とは違った、人との交流、自然とのふれ合い、文化との出会いをぜひ経験してください。また、この機会にボランティア活動にもぜひ参加してください。その中で発見したこと、興味をもったことをじっくりと探求してみるのも豊かに生きる上での大切な学びの経験となります。

有意義な37日間を過ごした皆さんの元気な笑顔に会えることを楽しみに待っています。健康で楽しい夏休みを！



小・中授業交流会

6月27日（水）に高田中学校で「小・中授業交流会」が実施されました。高田中学校、高田小学校、高田東小学校は、平成29年度に「併設型小・中学校」に市教委より指定されましたが、この交流会は指定以前から、横浜型小中一貫教育の取組の一つとして実施されています。今年度は昨年度策定された高田中ブロックで育成をめざす子ども像「○自らすすんで学び続ける子 ○仲間と協力してよりよい社会の実現を目指す子」に迫るために必要な資質・能力はどのような資質・能力なのかをブロックの子どもの実態を考慮して研究しています。今回の授業は、子ども像に迫るために必要な資質・能力を意識した授業をテーマとして、高田中1年3組（社会科）、3年3組（数学科）で授業が行われました。

1年3組の授業では、縄文時代が行き詰まった理由を考えることが学習課題でしたが、学習課題を追求するために提示する資料を生徒が主体的に取り組むことができるよう工夫していました。また、学習課題を「個」で解決を図るのではなく「集団」での話し合いを入れるなどの工夫をした授業でした。

3年3組の授業は、「平方根 ～平方根の利用～」の単元でしたが、身の周りの生活の中で、平方根が活用されている具体的場面について考察することで、数学的な見方や考え方を深めていくことをねらいとしています。授業の中で、生徒同士が互いの考えを言葉や図などを用いて的確に表現しながら伝え合い、認め合いながら考え方を発展させる力を育成することにより、「言語能力」「言葉による伝え合い」「他者と考えや思いを共有するコミュニケーション能力」などの資質・能力を伸ばすことを意識した授業でした。

授業後の協議会では、高田中、高田小、高田東小の教員が社会科と数学科の二つのグループに分かれ、授業を振り返るとともに、高田中ブロックで目指す子ども像を支える資質・能力とはどのようなものなのかについて、話し合いを行いました。9月には高田東小学校で、小・中授業交流会が行われる予定になっています。



協力しあった2年生 校外学習～in Tokyo～

6月26日（火）2学年の校外学習が行われました。班ごとに高田駅を出発し、ある駅で数班の生徒と出くわしました。「ね、どっちにいくの？」しおりをじっと見ながら友達の顔をのぞき込んだAさん。

「わかんない」そう言いながらBさんはちらっと引率者を見る。でも引率の先生に質問してはいけなとわかっているBさんは再びしおりに視線を戻す。すると「聞いてみるよ、おれ」そう言いながら近くを歩く方にすっと歩み寄り「〇〇はどうやっていくんですか？」と聞くCさんとDさん。こうした自ら課題に取り組もうとする気持ち、周りの人と協力して課題を解決しようとする様子がそこかしこに見ら

れた校外学習でした。普段当たり前にしていることかもしれませんが、この姿勢はこれから生きていくうえでとても大切です。ぜひこれからも続けてほしいし、どんな場面でも臆せずに行ってほしいものです。そんな行動をみて勇気が出ない人もやってみようと思えるもの。普段の学校生活とは違う場面でこうした体験を積んでほしい。今回の学習の大きな目標が1つ達成されているのを感じました。

高田中学校第2学年の校外学習は、このほかに「3年で行う広島修学旅行の事前学習として、第五福竜丸展示館見学を通じ、平和の尊さについて考える」ことがあります。事前学習でその目的の意味を十分に学んできた生徒たちは、第五福竜丸に到着するや吸い込まれるように館内に入り、展示されている当時の乗組員の生活用品や航海日誌などをじっと見入っていました。中にはそこに書かれた説明文を黙々とメモに書き写している生徒もいました。この学習での学びをポートフォリオでしっかりとまとめ、来年の広島修学旅行に向けてさらに学習を深める2年生であってほしいと願っています。

このあと子どもたちは上野か浅草を選択し、班ごとに移動しました。痛いぐらいの強い日差しの中でしたが、それぞれ上野動物園・アメ横・科学博物館、仲見世・浅草寺・かっぱ橋商店街の散歩を楽しみました。中には周りにいらっしゃる外国からいらした方々に積極的に英語で話しかけた生徒もいました。事前に狙いを定めてきた場所で食事をしたり、浅草寺でおみくじをひきみんなで見せ合ったり、変わった大きさのコーラをお土産に大切そうに抱えて歩いたり、大切な思い出をたくさん作りました。平和について、友達との交流について、公共におけるマナーについて・・・この日にそれぞれが学んだことをそこで終わらせず、次につなげて行ってほしいと思っています。これからも一つ一つの思いを大切に過ごしていきましょう。



社会を明るくする運動 座談会 ～中学生とともに～

7月11日(水)大倉山の港北区福祉保健活動拠点にて「港北区社会を明るくする運動 座談会～中学生とともに～」が行われ、区内中学校9校の代表が集まりました。「社会を明るくする運動」とは、法務省が主体となって犯罪のない地域社会を築こうとする全国的な運動です。この座談会では、だれもが安全で安心な暮らしをかなえるために、中学生とともに身近な問題を考え、今何が求められているのか、何ができるのかを話し合います。今回のテーマは、「地域との関わり方」で、本校から3年1組勝田奈々美さん、深澤 歩さんが参加し、他の中学校の代表や地域の方と意見交換をしてきました。



社会を明るくする運動 座談会～中学生とともに～に参加して

3年1組 勝田 奈々美さん

今年度のテーマは「地域との関わり方」ということで、活発な話し合いができました。他校の生徒の話聞いて、私の住んでいる高田はかなり地域と関わる機会が多いように感じます。話し合い全体を通して感じたことは、地域の方々をつながりをもつことは、私たち中学生にとってとても大切だということです。私たちからもっともっと地域の行事に参加することで、高田の町は良くなると思います。皆で、積極的にいろいろな行事に参加していきましょう。

貴重な経験をさせていただき、ありがとうございました。

3年1組 深澤 歩さん

今回、「社会を明るくする運動」座談会に参加をして、たくさんのことを学びました。地域行事を運営するのは、とても大変だということ、地域の方々には私たち中学生と一緒に楽しみたいということ、そして地域の人たちは私たちが参加してくれるのを待っているということ学びました。私は今まであまり参加したことがなかったのですが、夏休みの時間を活かして、いろいろなことに参加していきたいです。

お知らせ(教職員勤務時間外の学校電話の対応について)

横浜市教育委員会が策定した「横浜市立学校 教職員の働き方改革プラン」に基づき、7月21日(土)より、次の時間帯の学校電話を応答メッセージ対応としますので、ご了承いただきますようお願いいたします。

【応答メッセージ対応を設定する時間帯(原則)】	
学校課業日	19:30～翌朝7:00
長期休業期間および6月2日(平日の場合)	17:00～翌朝8:30
週休日・祝祭日および学校閉庁期間	全日